

『いいなああ~~~~!! たまらんなああ~~~~!!』
心から湧き出る言葉である。

旨そうな乳輪乳首を間近で鑑賞し、
ついには我慢できずに舌を伸ばしていく……

あーっ
うめえー

うめえー

よだれが滴る舌が

乳輪を下から舐め上げる。

べちよ~~~~ん!!

べちよ~~~~ん!!

『あっ、いや!! だめえ~~~~!!』

あーっ
だめー

あ
べちよー

べちよー

べちよー

すぐさま全部むしゃぶりつきたい気持ちを抑え、
まずは乳輪からじっくり味わっていく……

あ
べちよー

『ちよ、おじさん、待って！待って!!』

こうなったらもう何も耳に入らない正雄。

両乳房を掴み口一杯に頬張って、狂ったようにむさぼり吸いまくる。

乳首は絡みついたよだれと一緒に

「じゅるじゅるじゅる……!!」つとすすり吸われる。

ちゅく・ちゅく・ちゅく……と

口中に断続的に吸い込まれると思うと、

ちゅう~~~~!!ちゅう~~~~!!つと強く吸われる。

そして時折、痛い程強く口中に吸い込まれ、

さらに顔ごと限界まで吸い引っ張られる。

ちゅー!!

乳房ごと、乳輪ごと卑猥に長く伸ばされ、
ちゅっぽ〜ん!!と揺れ戻る。

すぐさま分厚い唇にまた襲われて、
絡みつく舌にレロレロと高速で跳ね上げられる……

ちゅ
ぢゅ
ぢゅ
ぢゅ

ミサはその胸に、いつも男達から欲情の視線を浴び続けている。
自然と意識過剰になり、コンプレックスも手伝ってより敏感になっている。

そんな敏感乳を乳狂いに与えてしまっただろうしようもない。

湧き上がる快感に逆らうことができず、

段々声も大きくなってしまいうミサ……

『いやあ~~~~!! あ・あん~~~~!!』

あん!!
だめ!
だめ!!

『おお〜、気持ちいいのか?!』

『そうか? そうか、よしよし! どうか? もっとか?!!』

びゅんびゅん
じゅんじゅん

じゅるじゅる、

ちゅ〜ちゅ〜ちゅ〜ちゅ〜
べちゅべちゅ

『ほら、コレはどうだ? コレ気持ちいいの?』

『おお〜、ミサちゃんきついのが好きなのか?』

これかあ~~~~!!』

『あん、あん、ああ~~~~ん!!』

『だめっ! あっ、ああっ、いやああ~~~~ん!!』

クイクイ!
きゅう〜!!

あんなにきついのが好きなんだ

『ああ〜ミサちゃん、おいしい〜!!』

『おじさんたまらん!! もうとりあえず一発出したいよ〜!!』

そう言うのとミサを座らせ、可愛い顔に汚い肉棒をこすりつけていく……
もうビクンビクンに勃起しきって、我慢汁が垂れまくって湯気を上げている。

昨日もチンカスマみれの汚い肉棒をしゃぶらされたが、

そのまま風呂も入らず我慢汁にまみれた肉棒は、もわ〜つとさらに強烈な悪臭を放っている。

『くっ、くっさ〜〜い!!』『いつ、いや〜〜!!』

『汚い!!おじさん! やっ、やめて〜!!』

『こんなにビンビンになっちゃうの、ミサちゃんのせいなんだから〜!!』

『ほら!ミサちゃんに興奮しているチン●、よく見てよお〜!!』

クイクイ!

汚い!!

背ける顔を押しさえつけ、腰をクイクイ突き出しながら顔中になすりつける……
きれいな顔に我慢汁が糸を引いて卑猥だ! 正雄のマーキングだ!!

『ああ〜ミサちゃん、可愛いねえ〜!!』

何ともあからさまで、えげつない正雄の姿。性欲丸出しの変態だ。

しかしミサが極上の美少女であればあるほど、あからさまに欲情をぶつけたい正雄だ。

ああ〜ミサちゃん
可愛いわねえ〜!!

『た・縦はいずりもお〜』

矢継ぎ早にバリエーションも変える。

あれもコレも贅沢に楽しみたいが、あまりの気持ちよさに先は長くはないので焦る。

今度は寄せ合わせた先っぽから突っ込む。

砲弾型に長細い見事な乳房にすっぽり全てを包まれ、

抜き差しするたびに乳房が吸い付くようだ!!

正雄の巨根でもとても最深部までは届かない嬉しさ。

にゅぷ〜!! にゅぷ〜!! と根元まで抜き挿しする……

あ
極楽!!!

か
ん!!!

にゅぷ〜
にゅぷ〜

『ああい〜!! いろいろ〜!!』

『すげえおっぱい〜!! いろいろ〜!!』

『ああああ〜!! 極楽だああ〜!!』

も・もう!! と思ったが、贅沢にも大好きな乳輪乳首が欲しくなる。